

看護学科

分野	基礎分野		授業科目	心理学	
受講学年	1学年 / 前期		単位/時間数	1単位 / 30時間	
担当者資格	校外心理学講師		経験有無	有	
学習目標	1. 心理学の基礎理論を理解する。 2. 心と行動のメカニズムを生活行動と結びつけ、理解する。 3. 自己理解、他者理解ができる。 4. カウンセリングの基礎技法を身につける。				
回数	学習課題	学習内容	方法	自己学習の指針	
1	パーソナリティ	類型論、特性論の理解	講義		
2	心理アセスメント1	質問紙法、ビックファイブ仮説	テスト		
3	心理アセスメント2	投影法、風景構成法、 ロールシャッハ・テスト			
4	ストレスとコーピング	ストレスのメカニズム、SRRS	講義		
5	適応と防衛	精神分析、防衛機制	講義		
6	人間の発達	認知・思考の発達 情動・社会性の発達 対人関係の発達	講義		
7	葛藤と フラストレーション	葛藤の種類、リラクゼーション ソーシャルサポート	講義		
8	学習と行動1	古典的条件づけ、恐怖症	講義		
9	学習と行動2	オペラント条件づけ、回避行動	講義		
10	認知行動療法	うつと認知療法、恐怖症とモデリング	講義		
11	知能と発達障害	知能、IQ、検査、留意点、発達障害	講義		
12	カウンセリング1	ロジャーズ、自己理論、 カウンセラーの条件	講義		
13	カウンセリング2	面接法によるパーソナリティ理解 家族面接	演習		
14	集団精神療法	エンカウンターグループ・SST	講義		
15	まとめ 試験	心理学と人間理解	講義		
評価方法	筆記試験				
テキスト					
参考図書 文献	レポートに関する参考図書を講義中、指示する				
備考					
授業科目 の教育内容	臨床心理士資格を持ち、大学心理学講師及び准教授としての経験のある心理士が、 心理学の基礎について教育を行う科目				

看護学科

分野	基礎分野	授業科目	看護のための社会学	
受講学年	1学年 / 前期	単位/時間数	1単位 / 30時間	
担当者資格	大学教授、看護師	経験有無	有	
学習目標	<p>本授業の目標は、受講生が社会的なものを見方を習得することにあります。とくに医療を対象とする社会学の観点から、組織構造・役割関係・価値体系・儀礼・行動システムに関する理解を深めます。</p> <p>保健・医療をとりまく諸問題を社会・文化的観点から考察します。</p> <p>社会的存在としての人間及び人間生活のあり方を理解することによって、看護の場に臨んで広い視野から行動できる能力を身につける。さらに家族看護論について理解する</p>			
回数	学習課題	学習内容	方法	自己学習の指針
1	意味づけとしての病	社会学の視点からみた病の経験	講義	
2	病者と患者	病人役割・病気行動		
3	スティグマ	「烙印」としての病		
4	医療施設	病院の成立から在宅ケアまで		
5	精神医療の歴史	全制的施設という捉え方		
6	医療化論	同性愛・ADHD		
7	感情労働	感情労働としての看護		
8	近代家族の定義	近代家族の定義と役割		
9	現代家族の諸問題	変化する家族と諸問題		
10	保健医療と家族	インフォーマルケア		
11	看護学における家族の理解	<ol style="list-style-type: none"> 1. 看護における家族の概念 2. 家族の健康の概念 3. 家族を理解するための諸理論 		
12	家族看護過程	<ol style="list-style-type: none"> 1. 家族看護アセスメント・家族看護診断 2. 家族看護計画・家族アセスメントモデルの概要 3. 家族看護方法・家族看護評価 		
13	家族看護における看護者の役割と援助姿勢	<ol style="list-style-type: none"> 1. 家族看護における看護者の役割 2. 家族を援助する時の援助姿勢 		
14	家族看護の実践	乳児・精神障害者・高齢者、終末期に関する家族援助 救急医療・集中治療の場における家族看護		
15	試験			
評価方法	小レポートと試験で評価します			
	中川輝彦・黒田浩一郎編『よくわかる医療社会学』ミネルヴァ書房			
参考図書文献				
備考				
授業科目の教育内容	看護師資格を持ち、看護師として5年以上の臨床経験のある看護師が、社会的なもの見方について教育を行う科目			

看護学科

分野	基礎分野	授業科目	看護情報学	
受講学年	1学年 / 後期	単位/時間数	1単位 / 30時間	
担当者資格	看護師 情報処理学校講師	経験有無	有	
学習目標	1. 情報の意味や意義を理解し、看護の情報処理や看護の学習に役立てる。 2. 情報のセキュリティの基礎を学び、医療現場に求められる情報セキュリティのあり方を考える。 3. 目的に応じた情報検索の方法を理解し、検索ができる。			
回数	学習課題	学習内容	方法	自己学習の指針
1,2 3,4 5,6	情報とは 情報社会の様々な脅威 情報セキュリティ読本 (IT時代の危機管理入門) 情報資産を守るには	1.IT(情報技術)に潜む危険 2.今日のセキュリティリスク 3.ウイルス被害とその対策 4.実際のセキュリティ対策 5.もっと知りたいセキュリティ技術 6.情報セキュリティ関連の法規と制度 ・セキュリティに関する法令 ・個人情報保護、プライバシーマーク ・医療現場で何を守るべきか、どう行動したらよいか。 ・文献検索とは		・社会には様々な脅威が存在しネットワーク社会も例外ではないことを認識する。 ・ネットワーク及びコンピュータに対する様々な攻撃の仕組みを理解する。 ・コンピュータウイルスも、その種類や仕組みを理解しておくことで冷静な対応が可能となる。 ・医療現場で守るものは何かを考える。
7	文献検索について理解する	・文献検索の実際(グループワーク)		文献検索をキーワードで実際に行う 医中誌・Dream II・インターネット等による実際の検索 グループワーク
8,9	文献検索演習 文献検索演習の発表	・グループワークと発表		
10,11	統計処理と検定	統計の基礎知識 1. 統計の基本概念 2. 検定の原理 3. 検定の進め方 4. 検定の実際(例にならない検定を行う)		例にならない実際に検定を行う(グループワーク) ケーススタディ発表会参加 看護観発表会参加
12 13,14 15	文献検索と看護研究 文献検索と看護研究 医療・看護データの実例	ケーススタディ発表会 看護観発表会 看護研究の実例 《調査研究の基礎》 1. 質問紙調査 2. 研究における論理的配慮 3. 質問紙の具体的な作り方 4. 研究デザインとデータ収集 5. 研究結果 6. 考察 7. プレゼンテーション		
評価方法	1. 出席 2. 参加・発表・レポートの総合評価			
テキスト	プリント(授業にて配布) 波多野 稔子 著 系統看護学講座 専門1 基礎看護学1 看護学概論 医学書院			
参考図書文献	情報セキュリティ読本 エプソン情報専門学校 川村佐和子 ナーシンググラフィカ 基礎看護学—看護研究 2007 メディカ出版 早川和生 JJNブックス 看護研究の進め方・論文の書き方 1993 医学書院 高木廣文 JJNブックスNo.48 看護研究にいかす質問紙調査 1995 医学書院 早川和生 JJNブックスNo.20 研究分野別看護研究の進め方 1995 医学書院 佐藤淑子他編 JJNスペシャルNo.65 看護文献・情報へのアプローチ 2000 医学書院 藤田和夫他著看護のためのパソコンで調査研究(シミュレーションで学ぶ問題点の発見から論文発表まで) 市原清志著 ハイオサイエンスの統計学(正しく活用するための実践論理) 1994 南江堂 黒田裕子著 黒田裕子の看護研究(step by step) 1997 学習研究社 松木光子他編 これからの看護研究—基礎と応用— 2000 廣川書店			
備考				
授業科目の教育内容	看護師資格を持ち、看護師として5年以上の臨床経験のある看護師が、情報の意味や意義、セキュリティについて教育を行う科目 情報関係資格を持ち、情報処理学校の講師として経験のある講師が、看護の情報処理について教育を行う科目			

看護学科

分野	基礎分野	授業科目	人間関係基礎論	
受講学年	1学年 / 後期	単位/時間数	1単位 / 15時間	
担当者資格	看護師	経験有無	有	
学習目標	1.援助的人間関係という言葉の意味を理解することができる 2.コミュニケーションの基礎理論と技法を理解する 3.一人ひとりが異なる人間であることを理解し、お互いに尊重し合うことができる 4.人と人との関係には、相互に影響し合う動きがあることがわかる			
回数	学習課題	学習内容	方法	自己学習の指針
1	人間関係に関する基礎知識	社会の中での様々な人間関係 看護と人間関係について学ぶ	講義	
2	人間関係とコミュニケーション	人間関係を円滑するための方法としての コミュニケーションを理解する	講義	
3	コミュニケーションプロセス	コミュニケーションの種類とプロセスおよび 基本的な技法を理解する 一方通行・双方通行のコミュニケーションを体験する	講義 演習	
4	ノンバーバル・コミュニケーション	言葉以外のコミュニケーションの 重要性とその特徴について理解する 言葉を用いずに他者と コミュニケーションする体験を行う	講義 演習	
5-6	コミュニケーションの阻害因子	フィードバックの活用と感情の取り扱いについて、 体験を通して理解する	講義 演習	
7-8	話す・聴く・フィードバック	グループになって、話す・聴く・観察することを体験して フィードバックの大切さを理解する	演習 演習	
評価方法	演習時の参加度およびレポート。			
テキスト	特に指定しない。その都度配付する。			
参考図書文献	その都度、紹介する。			
備考	講義の後の体験学習を通して、自身のコミュニケーション・スタイルを理解することが重要です。 積極的な参加を期待しています。			
授業科目の教育内容	看護師資格を持ち、看護師として5年以上の臨床経験のある看護師が、人間関係 について教育を行う科目			

看護学科

分野	基礎分野	授業科目	人権と赤十字	
受講学年	1学年 / 後期	単位/時間数	1単位 / 30時間	
担当者資格	日本赤十字社長野県支部、看護師	経験有無	有	
学習目標	基本的人権と赤十字の理念、組織の学びを通して人間の尊厳について理解し、看護の様々な場面で判断、行動する基盤とする			
回数	学習課題	学習内容	方法	自己学習の指針
1 2	1. 赤十字の歴史	1) 赤十字のなりたち、歴史 2) ジュネーブ条約のねらいと概要 3) 赤十字の基本原則 4) 国際人道法	講義	
3 4	2. 国際赤十字の組織とその活動	1) 赤十字国際委員会 2) 国際赤十字連盟 3) 各国赤十字社 4) 赤十字国際会議 5) 国際赤十字の活動	講義	
5 6	4. 日本赤十字社の発祥とその活動	1) 日本赤十字社の歴史 2) 日本赤十字社の組織、機構、事業、活動 3) 日本赤十字社長野県支部の事業・活動	講義	
7	5. 国際情勢と国際協力	1) 国際情勢 2) 国際協力 3) 赤十字と国際機関との関係	講義	
8	6. 人権と人道	人権と人道 1) 人権の生まれた背景 2) 憲法 基本的人権 3) 世界人権宣言 4) 赤十字の人道	講義	
9~11	7. 人権問題	日本・世界で起きている人権問題を知る 1) ホロコースト ハンセン病 2) 新聞記事より人権問題を探し、選んだ人権問題について調べ発表する	講義 VTR	
12~14	8. もっとクロス もっと赤十字を理解してもらうために	もっとクロス活動 1) もっとクロス活動とは 2) 対象、目的、方法を考える 3) 発表会	GW 発表 講義 GW 発表	
15	9. まとめ(赤十字に関連する講演等)	国内外の赤十字活動の体験者の講演等	講演 他	
評価方法	筆記試験(支部1~7回)(50%) 課題発表(8回~15回)(50%)			
テキスト	「人道」日赤のてびき 「赤十字と国際人道法」普及のためのハンドブック 日本赤十字社 「赤十字のしくみと活動」 日本赤十字社 「赤十字の基本原則」 ジャンピクテ著・井上忠男訳 東信堂			
参考図書 文献	「知っていますか?」赤十字マークの本当の意味」 「ジュネーブ条約と赤十字の基本原則」 「国際人道法普及入門」 「人道支援」 野々村忠致 集英社新書 「憲法入門」			
備考	・赤十字の動き(図書室常設 月間) ・赤十字から出しているビデオ ・日本赤十字社のホームページ、報告書(図書室の赤十字関連)			
授業科目の教育内容	看護師資格を持ち、看護師として5年以上の臨床経験のある看護師が、基本的人権と赤十字の理念、組織について教育を行う科目 日本赤十字社長野県支部職員が、基本的人権と赤十字の理念、組織について教育を行う科目			

看護学科

分野	基礎分野	授業科目	赤十字活動論	
受講学年	1学年 / 後期	単位/時間数	1単位 / 30時間	
担当者資格	校外赤十字関係者、看護師	経験有無	有	
学習目標	1. 赤十字におけるボランティア活動について理解する 2. ボランティア活動、赤十字活動を通して自己のボランティア観の確立 3. ボランティア活動を通して、人権意識の確立と普及			
回数	学習課題	学習内容	方法	自己学習の指針
1	1. ボランティアとは	1) ボランティアとは 2) 赤十字とボランティア	講義	
2	2. ボランティア活動の特徴と役割	1) ボランティアの特徴	講義	
3		2) ボランティア活動の意義・役割		
4		3) ボランティア活動に参加するにあたって活動時の心構え 4) ボランティア活動の進め方		
5	3. ボランティアの実践 活動を通してその意義、人権意識の普及と高揚を実践	1) ボランティア活動の企画と実践 ・看護の日 ・赤十字デー ・ボランティア企画への参加 ・自主的な企画	演習	
6		2) 活動を通してボランティアの意義、人権意識を持つ		
7	4. 実践の振り返り	3) 中間発表会 ボランティア活動の振り返りと課題の明確化 赤十字精神に基づいたボランティアとは	GW	
8		1) 実践の振り返りと話し合い 赤十字精神に基づいたボランティアについて考えを深める 2) ボランティアの意義、赤十字、人権についてまとめる	GW 発表	
9~11				
12~14				
15				
評価方法	1. 出席 2. 参加状況 3. レポート			
参考図書 文献	赤十字ボランティア活動の進め方 赤十字ボランティア活動メニューブック			
参考図書文献	赤十字のしくみと活動 「人道支援」 野々村忠致 集英社新書			
備考				
授業科目の教育内容	看護師資格を持ち、看護師として5年以上の臨床経験のある看護師が、赤十字におけるボランティア活動について教育を行う科目 赤十字ボランティアとして長年の経験がある講師が、赤十字におけるボランティア活動について教育を行う科目			

看護学科

分野	基礎分野	授業科目	手話	
受講学年	2学年 / 前期	単位/時間数	1単位 / 30時間	
担当者資格	手話通訳士	経験有無	有	
学習目標	1. 聴覚障害と聴覚障害者を総合的に理解する。 2. 言語としての手話の、基礎的な表現を習得する。 3. 聴覚障害者とのコミュニケーションについて理解を深める			
回数	学習課題	学習内容	方法	自己学習の指針
1	オリエンテーション	講義: 手話を始めるにあたって 実技: 挨拶・色	講義 演習	挨拶の復習
2	耳の仕組み	講義: 聞こえの仕組み 実技: 数・名前の表現		数の復習
3	障害の原因	講義: 障害の原因 実技: 数に関する会話		名前の復習
4	コミュニケーション1	講義: 口話 読話 実技: 家族について		人物の復習
5	コミュニケーション2	講義: 筆談 実技: 指文字		指文字の復習
6	聴覚障害児教育	講義: 「明晴学園」視聴 実技: 趣味・スポーツ	DVD	
7	情報保障について	講義: 「五目ごはん」視聴 実技: 住所	DVD	趣味・スポーツの復習
8	ろうあ運動1	講義: 映画「ゆずり葉」前半視聴 実技: 仕事・将来の夢	DVD	住所の復習
9	ろうあ運動2	講義: 映画「ゆずり葉」後半視聴	DVD	仕事の復習
10	高齢ろう者の介護	講義: 高齢ろう者の支援事例 実技: 手話の感想	DVD	
11	ろう者とのコミュニケーション	演習: ろう者との会話 自己紹介を中心に		ゲスト3人
12	福祉機器・制度	講義: 福祉機器・福祉制度 実技: 医療現場の手話	PC	
13	手話の資格制度	講義: 手話を学ぶ方法 実技: 医療現場の手話2		
14	まとめ	講義: まとめ 医療場面でのろう者の支援		医療現場の手話復習
15	筆記試験 : 手話読み取り試験	試験: 手話の読み取り試験 試験: 試験の解説		読み取り学習
評価方法	筆記試験と読み取り試験による総合評価			
テキスト	「手話のワークブック」 武居 みさ 著			
参考図書文献	「初めての手話」 日本文芸社 「聴覚・言語障害者とコミュニケーション」一橋出版			
備考	手話は視る言語です。音声言語を追い出し、手話を丸ごと覚えるようにしましょう。 まずは、恥ずかしがらずにコミュニケーションを楽しむようにしましょう。			
授業科目の教育内容	手話通訳士の資格を持ち、手話通訳士として経験のある手話通訳士が、聴覚障害者とのコミュニケーションについて教育を行う科目			